

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和4年11月15日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 ささせ順子

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>子どもを大切にすまちづくりについて</p> <p>政府が令和5年度に創設する「こども家庭庁」の基本方針には、「常にこどもの視点に立ち、こどもの最善の利益を第一に考え」「こどもに関する取組・政策を社会の真ん中に捉える」こどもまんなか社会の実現を目指すと示されている。</p> <p>希望する誰もが安心して子どもを産み育てるために、結婚、妊娠、出産から子どもが社会に巣立つまで、ライフステージに応じた切れ目のない支援が求められている。特に出産前後や、未就園児（保育園や幼稚園に就園していない児童）がいる0～2歳児の子育て世代は「孤育て」（孤立した状態の育児）に陥りやすく、地域の保育園や幼稚園などを含めたセーフティネットに繋がりやすい体制の整備を求めたい。</p> <p>また、同年4月より施行される「こども基本法」には、全ての子どもが個人として尊重され、子ども施策を策定・実施・評価する際、子どもと若者の意見を反映することが規定された。これまで、子どもの包括的な権利や基本方針を定めた法律は存在していなかったが、子どもを取り巻く環境が厳しさを増す今だからこそ、子どもの権利を再認識し、子どもの意見を尊重するためのしくみ作りが必要と考え質問をする。</p>	

	<p>(1) リトルベビー（低体重児）支援について ア 出生数の推移はどのようなか。 イ 成長記録の方法を伺う。 ウ リトルベビーハンドブックを普及しないか。</p> <p>(2) 育児不安の軽減について ア 産後うつ予防と支援策はどのようなか。 イ 保育園や幼稚園などに通わない「無通園児」の現状把握はどのようなか。 ウ マイ保育園事業を展開しないか。</p> <p>(3) 子どもの権利条例について ア 子どもの権利について、どのような周知啓発を行っているか。 イ 子どもオンブズパーソン制度を導入しないか。 ウ 子どもの権利条例の制定への考えを伺う。</p>	
2	<p>がんと帯状疱疹の予防対策について</p> <p>2022年11月に開催された厚生科学審議会の予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会では、約90%の割合で子宮頸がんを防ぐことができる9価HPV（子宮頸がん）ワクチンを、2023年4月から定期接種とする方針を固めた。全ての接種対象者に9価HPVワクチンの有効性や安全性などの情報を周知し、「ワクチンで防げるがん」に関する正しい知識と、情報提供を求めたい。</p> <p>また、帯状疱疹は、80歳までに3人に1人が経験するといわれ、日本人成人の90%以上が帯状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜伏している。ワクチンの有効性を知らないまま発症し、後遺症に苦しむ市民がいるため、予防法の周知啓発を求め質問する。</p> <p>(1) HPVワクチンについて ア 積極的勧奨再開後の周知状況を伺う。 イ 9価HPVワクチンの定期接種化への対応を伺う。 ウ 本ワクチンを男子に接種するという動きがあるが、男子への接種効果はどのようなか。</p> <p>(2) 帯状疱疹ワクチンについて ア 接種効果はどのようなか。 イ 発症や重症化を抑える方法の周知啓発をしないか。 ウ 接種費用の助成について考えを伺う。</p>	